

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 美空	代表者	津野 克久	法人・事業所の特徴	株式会社美空は、高知県南国市・香美市に高齢者介護の事業を展開しています。現在、地域通所介護の施設を3軒、小規模多機能型の施設を2軒、居宅介護支援事業所を南国市立田にある本社1階に構えさせていただいています。地域に根差した介護を心掛け、利用者様、ご家族様の思いに寄り添ったケアを提供できるよう日々、取り組んでおります。
事業所名	小規模多機能ホーム みそら山田	管理者	津野 優子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	1人	1人	1人	人	人	14人	人	17人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ol style="list-style-type: none"> 1.利用開始の一カ月は、関係性作りに努め、本人状態を把握できるような関わりとする。 2.具体的で取り組みやすい目標を立て、達成を目指していく。 3.自身の意思表示が困難な方の気持ちを汲み取れるようスキルの向上を目指す。 4.自宅での様子や、近隣、地域との関わりについても関心を持つ。 5.事務所の特性を理解し、利用者のニーズに添った対応を目指す。 6.地域行事や取り組みに一つでも参加する。 7.会社の一員としての自覚がある言動、地域貢献を目指す。 8.研修会に参加しスキルアップを目指す。 9.利用者に対する尊厳を忘れず、心を込めたケアを提供する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.各職員、新規利用者情報を把握し、関係性作りに対し前向きに取り組んでいた。 2.毎月の目標を具体的な内容にしたことで、目標達成できた月が多かった。 3.表情や姿勢、声のトーン等で、こう思われているかもしれない、と取り組んでみたが、ご本人様の本当に望まれるケアができたかわからない。 4.ご利用者様のご自宅での様子など、送迎のお迎え時に、積極的に情報収集を行えた。 5.小規模多機能である通い、泊り、訪問を各自把握して、業務に取り組めた。独居の方に対し、台風が翌日影響しそうだと判断し、急きょ泊りに変更し、柔軟な判断と対応が出来た。 6.コロナ禍の影響で地域行事への参加は見送ることが多かった。 7.会社から一歩外へ出たら、会社の顔という自覚を持って各々行動できた。自転車通学のマナーの悪い生徒に注意してあげる等、社会の一員としての役割を果たす事もあった。 8.社内研修への出席率は高く、皆、毎月の研修に意欲的に取り組めた。学んだ情報を仕事に活かしている。 9.尊厳の大切さが疎かにならないよう各自意識していたが、業務に追われて、忙しい時間帯には、業務を優先し、本質を見失った日もあった。 	<p>職員の皆さん、自分自身に辛口な評価をされているのかな？という印象でした。</p> <p>それぞれの項目で具体的な目標を立てられていると思います。コロナ禍がいつまで続くか分らないですが、屋外活動等、ケアマネさんの的確な判断にお任せしたいです。行ける時は行って頂きたいし、危ないと感じる時は自粛する判断を今後ともお願いしたいと思います。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1.初めて利用される方への対応は、基本情報を全職員が把握した上で、対応していく 2.各職員、利用者情報の閲覧を積極的に行うようにする 3.各職員が、利用者様の支援内容を把握し、申し送りノートから最新の情報を得た状態で、ケアを実施するようにする 4.地域の資源とは様々な種類ものがあり、人材、文化、施設、コミュニティ、自然等があるので、理解した上で活用できるなら取り入れていくようにする。 5.地域の資源の活用を検討する。 6.コロナ禍が継続するなら、最小限の連携に留めたい。(運営推進委員会や、消防訓練など) 7.運営推進委員会等を通し、引き続き健全な運営を継続できるよう、ご家族様や地域の方にもご意見やご感想をいただく。 8.コロナ禍の為、社外研修へ行く事をためらう人も多いので、社内で行える研修を充実させるようにしている。 9.個人情報やプライバシー保護の取扱い徹底していく。

<p>B. 事業所のしつらえ・環境</p>	<p>ゴミ拾いを徹底し、事業所の環境整備に努める</p>	<p>ゴミ拾いを徹底し、施設内は元より、事業所の回りも整備するよう取り組めた。夏場、大雨が続く、外の清掃が出来なかった時期があり、ものすごい草が茂っていた時があったが、その時以外は基本的に達成できた。</p>	<p>コロナがまん延している事がニュースで取り上げられた時、ここの施設はちゃんと対応してくれました。フロアにも泊まる部屋にも、空気清浄機を置いてくれて安心して泊まることができました。</p>	<p>「利用者様に快適に過ごしていただく空間づくりをする」</p> <p>引き続き、ゴミ拾いを徹底し、清潔な場所の提供をします。利用者様に、フロアや居室で過ごしていただくのに、室内の温度、湿度等にも配慮した空間を目指します。</p>
<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>地域の会合や行事に参加する</p>	<p>コロナ禍の為、計画は達成できていなかった。</p>	<p>地域との関わりを持つのは、素晴らしい事ですが、この時期、大変だと思います。コロナがまん延しているから、みそらさんで対策もされているとは思いますが、感染が出てしまう可能性もゼロではないし、無理して地域と関わらなくてもいいのではないかと個人的には思いました。</p>	<p>「地域の会合や行事に参加する」</p> <p>この計画は、継続していきます。コロナ禍の中で、地域の方との関係性を結ぶ事は、難しい時期かと思いますが、地域の催す行事等に、安全を第一に考えた上で、参加も検討していきたいです。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>利用者とともに地域、近隣に外出し、交流を試みる</p>	<p>コロナ禍の為、計画は達成できていなかった。</p>	<p>地域のイベント自体自粛している事が多かったから、このテーマはなかなか難しいと感じます。イベントではないけど、職員さんが、近所の神社に参拝に行った時や、ドライブに行ってきた、その時の様子や会話を、送ってくれた時や、連絡帳に書いてくれているので、その内容を聞かせてくれるのはとても嬉しく思います。</p>	<p>「利用者とともに地域、近隣に外出し、交流を試みる」</p> <p>この計画も、継続していきます。コロナ禍はしばらく続くと思われるが、閉鎖的にならず、高知県のコロナ感染者の推移を鑑みて、外出できるようであれば前向きに検討していきます。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>多様な職種、立場から意見や助言をいただき、運営に反映させる</p>	<p>コロナ禍の為、運営推進会議を中止にした月もあり、より多くのご意見や助言をいただきましたが、かなわない時があった。</p>	<p>コロナがまん延しているこの時期、運営推進会議にご参加する家族さんが減っていて、貴重な情報交換の場だと思っていましたが、少し寂しい気もしました。この会で、よく送迎に来てくれる職員さん、おしゃべりの好きな利用者さんも出席してくれて、いろんな情報を分かりやすく教えてくれました。利用者さんもずっとにこやかにいらっしゃるのも印象的でした。</p>	<p>「多様な職種、立場から意見や助言をいただき、運営に反映させる」</p> <p>この計画も継続します。今回、コロナのために、運営推進会議を中止にせざるを得ない時がありました。本来は、多くの方に自分たちの活動の報告を聞いていただきたいし、それに対し、ご意見を聞かせていただきたいです。自分たちでは気付いていないご指摘や助言により、今以上に成長できると思います。</p>

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>地域の避難場所への避難経路を確立する</p>	<p>実際に避難するようにしていた楠目小学校に、歩行と車イス押しで、避難訓練を実施したが、片道 11 分ほど時間がかかる事が分かった。 車輦での避難となれば問題はないが、利用者様を全員歩行または、車イスで避難するとなれば現実的でないと思われる。</p>	<p>防災訓練に実際参加しました。本番を想定して火災用のベルを鳴らして本格的にやっていました。 避難について、この事業所はまだ新しいし、水害の被害にもあいにくそうではないところに建てていると思います。下手に逃げなくてもいいかもしれないですね。</p>	<p>「警戒レベルを正しく認識し、適切な判断をする」 高齢者等の避難は、警戒レベル 3 とされています。災害時、逃げ遅れる事のないよう、情報収集をしていきます。避難した後の、避難先での過ごし方、対応の仕方も課題です。 認知症の人に対する知識のない方達とも、同じ避難先になると思われますので、利用者様の尊厳を損なわないよう、職員が行動しなくてはなりません。</p>
----------------------------	---------------------------	--	--	--